

令和4年度庄原市教育フォーラム

「情報化社会」をテーマに開催！
～学校・家庭・地域が一緒になって考える～

10月22日（土）、「情報化社会」をテーマに、3年ぶりに教育フォーラムを開催しました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者、教職員を中心に参加を呼びかけ、約200人が参加しました。

最初に、子供の読書活動のリーダーを養成する「子供司書」養成講座の受講生を代表して、口和小学校6年生の3人が、今年度の講座の取組、読書への思いなどを発表しました。この講座では、おすすめの本を紹介するポップの作り方を学んだり、図書館で図書の貸出や返却等の体験をしたり、学校で読書の楽しさを伝えるための活動をしたりしていることを述べました。また、実際に、絵本の読み語りも行いました。この講座を終え、活動が認められると広島県教育委員会から「子供司書」として認証されます。



続いて、庄原市内の4つの中学校の代表者が、「情報化社会を生きる」をテーマに意見発表を行いました。あふれる情報の中から正しい情報を選択し判断できる力や、自分の発信に責任をもつこと、様々な情報を自分の夢や目標実現のために役立てることなど、これからの情報化社会をたくましく豊かに生きていくために、情報とどのように向き合っていくべきか、一人一人が真剣に考え、行動していくことを述べました。

また、今回は、児童・生徒発表の司会を中学生が行いました。緊張しながらも感想を交えながら、スムーズに進行を行うことができました。

小中学生が、自分の考えや意見、体験を堂々と発表する姿に、会場からは大きな拍手が送られました。

最後に、テレビなどでもご活躍の東北大学加齢医学研究所 所長 東北大学教授 川島隆太先生に「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」と題して講演を行っていただきました。これまでの研究等における科学的根拠を基に、スマートフォンなど情報機器が子供の学力や脳の成長に与える影響について詳しく講演していただきました。また、読書をする事でこれからの子供たちに必要な創造力を育てることができることも教えていただき、今後どのようにこの情報化社会と向き合い、子供たちを育むのか考えていく貴重な時間となりました。



アンケートから ～ 参加者の感想 ～

10代	児童・生徒	子供司書の発表を聞いて、私も子供司書になってみたいと思いました。「いつもかばんに本が入っている」ということを目指します。
10代	児童・生徒	脳はどういう仕組みになっているのか知ることができてうれしかったです。小学校の発表で本の持ち方などを知ることができたから、学校の読み語りでも工夫したいです。スマホのことで少し離してもアラーム(音)が聞こえると6分しか集中できないことが分かりました。そしてミスすることも分かりました。これからはタブレットやスマホなどを長時間使わないようにしていきたいです。
20代	教職員	川島教授の話では、情報化社会への向き合い方やこれからの時代を生きる子供たちへの情報教育の在り方について改めて考えることができました。読書を通して子供たちの発想力、想像力を育て、授業づくりにも生かしていきたいです。
20代	教職員	小学生の子供司書の取組について、読書推進にとっても大切なことだと感じました。中学生の意見発表は、情報化社会について自分事として捉えられており感心しました。タブレット学習のメリット、デメリットをよく考えて使うことが大切であると感じました。自分も積極的に読書をしていこうと思います。
30代	保護者	子供にスマホを持たせる際の参考になりました。我が家はまだ持っていませんが、先では持つことになると思うので、家でもしっかりと使い方を考えたいと思います。子供たちの発表がすごくよかったです。
30代	保護者	児童生徒の発表がとても良かった。情報化によるものなのか発表の完成度が高いと感心した。自分の発言に責任をもつこと、情報活用等の意見についてはその通りと感じた。未知の分からない未来を生きる子供たちに自分(大人)は何ができるか？大人も止まらずに行動していかなければならない。
30代	教職員	スマホやタブレットが及ぼす影響について科学的根拠を基にお話が聞けたことはとてもよかったです。保護者の方や子供たちへも、もっと伝えていきたいと強く感じました。
40代	保護者	子供司書のみなさんの発表がとても良かったです。読んだことがある本でも、読み聞かせをしてもらおうと、また温かい気持ちになりとても感動しました。川島先生のお話を聞いて、自分自身のスマートフォンの使い方や、これから子供たちがどのようにスマートフォンと付き合いしていくべきかを考える貴重な時間となりました。
40代	保護者	子供たちの熱心に発表する姿に感動しました。先生がしっかりご指導された成果だと思います。講演でスマホやタブレットが及ぼす脳の影響と読書の大切さについて分かりました。本を読もうと改めて思いました。

40代	保護者	<p>中学校生徒の発表は地域の様子を踏まえて実情や課題が捉えられていてよかったです。講演内容は脳科学根拠がはっきり示されていて納得することができました。</p>
40代	教職員	<p>小中学生の発表、とても素晴らしかったです。みんな堂々と自分の考えを自分の言葉で伝える力に感心しました。川島先生の講話は、教諭としても保護者としても学ぶことがたくさんありました。時代の流れと脳の働き、バランスをとりながら成長させていきたいです。</p>
40代	一般	<p>子供司書では子供たちがやってきたことを自信をもって話すことができていました。日頃の地道な指導があるからだと改めて感じました。また中学生の発表では、自分が学習したこと、自分の思いなどを自分の言葉で堂々と語っている姿に力をもらいました。川島先生の話は「はあ～すごい」と思うことばかりで、メモをたくさん取らせていただきました。最先端の話をいただいたと思います。私自身もスマホ・タブレットの付き合い方を考え、そして読書の大切さをもう一度家族と話してみようと思います。</p>
40代	一般	<p>発表した児童生徒から元気ももらいました。どの発表も分かりやすく納得できる内容でした。このような場で堂々と表現でき立派だと思いました。学校以外でこのような機会があることはとても素晴らしいと思います。司会の中学生も堂々としていました。来てよかったです。</p> <p>川島先生のお話はとても驚きました。なんとなくスマホの影響は大きいと分かっていましたが、気にせず生活の一部としてフル活用していましたし、子供にも与えていました。科学的根拠に基づき明確な悪影響が分かり、うまく使っていこう、読書もしていこうと強く感じました。庄原市の読書の取組は子供たちの未来にとっても重要だと思います。</p>
50代	教職員	<p>子供司書の取組は、とても分かりやすく考えもしっかりしていて感心するとともに感動しました。読み語りは涙が出ました。すばらしかったです。中学生の意見発表も4校とも切り込み方が異なり、これからについて考える提案だったと思います。これからどうやってアナログとデジタルのバランスをとるか難しさも感じました。参考になりました。</p>
50代	教職員	<p>口和小の子供司書の発表すばらしかったです。本を読むことは心を育むことにつながっていることを、発表された3人の姿、声をもって実感しました。川島先生の講演で、スマホの弊害が身に染みて分かりました。子供たち(我が子も含めて)に必ず伝えていきたいです。しかし、それ以前に私たち自身がスマホやタブレットの使い方を変容しなければ説得力がないと感じました。</p>
50代	教職員	<p>児童生徒が活躍する姿が見られたことで、庄原市の教育の取組の素晴らしさを子供の姿から感じることができました。また、本日の講演は自分自身が関心のある内容でしたので、大変興味深く聞かせていただきました。いろいろと考えさせられるお話でした。</p>